

あきる野市の歴史・文化を学ぶ

資料館の紹介

市内には「五日市郷土館」と「二宮考古館」の2つの資料館があります。また、五日市郷土館の敷地内には、市指定有形文化財の「旧市倉家住宅」があります。ここでは、その魅力について紹介します。



五日市郷土館



旧市倉家住宅

五日市郷土館は、旧五日市町時代の昭和56年に開館しました。

武蔵五日市駅から檜原街道を西に向かつて徒歩約17分の場合所にあり、五日市地区を中心とした民具や化石を展示しています。また、五日市憲法草案の関係資料や、郷土の偉人・萩原タケの関係資料なども展示されており、かつての五日市地区について知ることができます。他にも「郷土の古文書」シリーズの発行・展示など、収蔵資料を未来に伝えていくため、保存・研究を行っています。



昨年のヨルイチ開催日の旧市倉家住宅の様子

郷土館の敷地内には、江戸時代末期から明治時代の一般的な農家の形態を残している古民家「旧市倉家住宅（市指定有形文化財）」が展示・公開されています。平成12年に地域内から移築されたもので、実際に家の中に

入り、かつての暮らしを体感することが出来ます。毎年8月末に五日市地区で開催される「ヨルイチ」では、市民解説員による昔話の語りや、秋川キヲホール出張公演としてミニコンサートを実施しています。今年も開催を予定していますので、古民家で情緒を感じながら素敵なひとときを過ごしたい、ぜひお越しください。



二宮考古館

東秋留駅の近く、二宮神社敷地内には二宮考古館があります。旧秋川市時代の平成2年に開館しました。

展示室内では、市内で発掘された旧石器時代から縄文時代の石器や土器などの考古遺物を中心に多数展示しています。毎年、夏期には小・中学生向けの体験教室も行っているほか、市内外の発掘調査報告書の閲覧もでき



二宮考古館館内

あきる野文化財クイズ

Q. 7月に発行が予定されている新一万円札紙幣に描かれている渋沢栄一氏は、とある市内の文化財と関係があります。それは一体何でしょうか？

※答えは下段

あきる野の歴史について学ぶことができます。

これらの施設では、市内に昔からたくさんの方が住み、生活を営んできた様子を垣間見ることができ、現在の我々の生活に繋がっていることを知ることができます。案外身近な地域の歴史や文化は知らないものかもしれませんが、学んだり、実際に触れてみることで、新たなあきる野市の魅力に気がつくことができるかもしれません。この夏はぜひ、あきる野市の過去を探しに訪れてはいかがでしょうか。

祭礼と郷土芸能



お祭りで郷土芸能の魅力に触れてみませんか？

二次元コードを読み取ると市のホームページ上で各種情報をご覧いただけます。



令和6年度あきる野市郷土芸能連合会加盟団体祭礼出演予定



令和6年度獅子舞出演予定



令和6年度あきる野市内歌舞伎保存団体

あきる野市には、多くの郷土芸能が伝承されているのをご存じでしょうか。毎年、8月に行われる「あきる野夏まつり」では、秋川駅前大通りにて山車パレードが行われます。市内のお囃子や獅子舞・棒使い・神楽などの伝統芸能の保存団体で結成されている「あきる野市郷土芸能連合会」に所属している各団体が、一斉にお囃子の演奏を始める様子が、多くの子ども達が次世代の担

は庄巻です。お囃子をはじめ獅子舞・棒使い・神楽も各地域の祭礼で披露されています。

このほかにも、菅生地区、二宮地区ではそれぞれ農村歌舞伎「菅生歌舞伎」「秋川歌舞伎」が伝承されており、祭礼や公演において歌舞伎が披露されています。

クイズの答え

A. 青い目の人形

昭和2年にアメリカから友情の証として、日本中の学校や幼稚園に人形（通称「青い目の人形」）が配られ、渋沢栄一氏がこの事業に尽力されました。あきる野市内にも当時の戸倉小学校へ寄贈された人形が残されており、現在「戸倉しろやまテラス」1階に展示されています。

い手となって活躍している姿を見ることが出来ます。今年はコロナ禍を経て、市内の各所でお祭りが開催される予定です。ぜひお近くのお祭りに出かけてみて、伝統芸能を間近でご覧になってみてはいかがでしょうか。



菅生歌舞伎



秋川歌舞伎